

農業と科学

1979

1

CHISSO-ASAHI FERTILIZER CO LTD

創立10周年の新春を迎え

農業の前途を展望する

チッソ旭肥料株式会社
常務取締役・販売第1部長

青柳 晃 夫

新年おめでとうございます。年頭に当り、読者の皆様に本年が実り多き年でありますようお願いするとともに、一言ご挨拶を申し上げます。

チッソ株式会社と旭化成工業株式会社の肥料部門を統合し、当社が、それぞれの伝統に立脚しつつ、日本農業の発展に寄与せんものと、チッソ旭肥料株式会社として発足致しましてから、本年はちょうど満10年になります。この間、当社の肥料事業の発展につきまして、皆様から一方ならぬ温かいご支援・ご鞭撻をいただき参りました。ここに改めて厚く御礼申し上げます。

さて、戦後30年以上を経過した今日、我が国経済の発展はまことにめざましいものがあり、国際社会において相当な役割を担うべき立場に立つに至っておりますが、反面、国内においては、幾多の難問題をかかえておる現状であります。

その最も大きなものの1つが、農業問題ではなからうかと思えます。高度な工業化社会の実現と農業の衰退という矛盾を、今こそ根本的に見直し、国際的な展望に立って、日本農業のすすむべき方向を、明確にする必要を痛感する次第であります。

たしかに農業は、国の経済の基本であり、食糧の自給率向上をめざすことが、我が国経済政策の根本問題であること等、国民大方の合意は得られていると思えますが、問題は、農業従事者が将来への明るい希望をもって仕事に従事できるような、具体的な方向づけが、農業政策に欠けていることだと存じます。この問題は、我々肥料事業にたづさわる者にも、等しくあてはまることであります。

為政者に、農業従事者が、農業に誇りと希望を]もって、毎日の困難な仕事の中にも生き甲斐を十分に味わってゆけるような、具体的な政策の樹立を強く要望したいところであります。

と同時に、農業にかかわりのある者も、それぞれの立場で、この方向づけの模索に努力することが肝要である

と存じます。我々も肥料事業を通して、今後も懸命の努力をして参る所存であります。

当社は、技術陣の多年にわたる開発努力をふまへ、緩効性窒素肥料「CDU」、硝酸系高度化成肥料「磷硝安加里」を普及して参りましたが、更に「被覆磷硝安加里」、「被覆尿素」を開発致しました。これらは、いずれも肥効・施肥の合理化・「土壌をあらさない」ことを念願した、ユニークな特徴を有する肥料として、認めていただいております。

今後一段と技術力を結集し、日本農業のより一層の発展に、いささかでも貢献できるよう新肥料の開発、栽培技術の研究に努力を傾注して参ります。皆様のたゆまざるご指導とご支援を切にお願い致します。

「農業と科学」は、肥料を中心に編集しておりますが、幸い好個の文献として皆様に好評をいただいております。これは、ひとえに皆様の長年にわたるご愛読・ご支援、とともに、ご執筆いただきました諸先生のご協力があればこそと、深く感激致しております。

今後、更に内容を充実し、少しでも皆様のお役に立つよう努力して参りたいと存じますので、何卒積極的なご意見・ご批判を賜りますようお願い致します。

皆様のご多幸とご繁栄を心からお祈り申し上げ、新春の辭と致します。

<目次>

- § 創立10周年の新春を迎え
農業の前途を展望する……………(1)
チッソ旭肥料株式会社 青柳 晃 夫
常務取締役・販売第1部長
- § 台湾における大豆多収穫と施肥の要点……………(2)
野菜試験場 吉田 堯
土壌肥料研究室
- § 暖地における水田大豆の多収策について……………(5)
岡山県農業試験場長 小林 甲 喜
- § ケンタッキーワンダーと
門脇さんの加温促成栽培……………(7)
高知県土佐山田 金 沢 伝
農業改良普及所